

## 第2回学校運営協議会

## I 学校運営協議会資料について

## (1) 今年度の取組について

委員からの感想・意見・質問	意見や質問に対する回答
学校行事については、消毒や換気など、コロナ対策を講じながら開催できたことは素晴らしい。	<p>コロナ禍という、これまでにない環境の中、学校としては試行錯誤しながらの取組でした。できる限り見通しを立てながら対応してまいりましたが、一刻一刻変化する状況に、その場その場で出来ることを精一杯やった、というのが正直な気持ちです。そのような中でも、職員がそれぞれの持ち場で工夫をしながら最善を尽くそうとすることで、一丸となって苦境に立ち向かおうとする雰囲気醸成できたように思います。</p> <p>子ども達も制限の多い中、良く頑張ってくれました。また、保護者の皆様に、決して十分とは言えない学校の取組に対し、御理解と御支援を頂けたことも、学校としては大いなる励みとなりました。</p>
外部のコンテスト等で多くの児童生徒が表彰されており、子ども達が頑張っている様子が伝わった。	
コロナ禍において、細やかに対応していることがメールの記録等からも確認できた。病弱系の学校ということもあり、ミスが許されない状況下だったが、的確に対応できていた。	
休業決定後、即座に遠隔授業の環境整備を行うなど、迅速に対応できていた。このことは家庭の安心感に結びついたと思う。	
これまでにない環境で、職員はよく創意工夫していた。これが児童生徒と保護者によく理解されたことにより、保護者アンケートの評価向上に結びついたのではないかと。今後も同様に臨機応変に対応できる環境作りに励んで欲しい。	
Zoom等ICTの活用が今後一層重要になると感じた。	

## (2) 各学部の取組について

委員からの感想・意見・質問	意見や質問に対する回答
ZoomやGoogle Classroomなどのツールの活用をとおして、オンラインならではの写真や動画での学習の保護者との共有などGIGAスクール構想に沿った形で成果がみられていることを感じた。職員研修等がオンラインで行われていることが分かったが、さらにオンデマンド方式によるeラーニングなどの取組を導入する試みなどを検討してはどうか。	<p>コロナ禍の数少ない利点は、必要に迫られてとはいえ、ICT機器の活用が進んだことです。職員がその利便性を体感することで意識が高まり、現在、様々な場面でICT機器を使用しています。教育支援プラットフォームであるGoogle Classroomを含むG Suite for Educationを使用している特別支援学校は、現段階では県下で本校のみですが、御指摘のとおりGIGAスクール構想もあり、他の特別支援学校でもそのニーズは高まっていくことが予想されます。本校の取組で効果のあったことは、何らかの形で他校と情報共有ができればと考えております。</p> <p>また、eラーニングについても検討を進めて行ければと考えておりますので、その折は是非御助言をいただければ幸いに存じます。</p> <p>学校行事につきましても、精選する一方で、子ども達の学校生活の充実に不可欠であるため、今後も必要な行事は工夫して行いたいと考えております。</p>
情報提供や対応のあり方にICTを活用した新たな取組が随所に見られた。今後の教育活動に生かすだけでなく、障がいがある子ども達の教育、療育の先進モデルとなるよう期待している。	
行事の削減やリモートでの実施、学習集団の大きさや内容の見直しが迫られた部分はあったと思うが、それをとても細やかな補いで対応できており、今後新たな取組として定着していくのだろうと思う。高等部3年生の多くが、チャレンジシップの取組を通して進路決定していることはすごいことであり、職員の努力が感じられた。	
学校行事を削減やリモートで実施するなど工夫したことで、児童生徒も充実した学校生活を送れたのではないかと。それぞれの課程により、児童生徒の実態に応じた取組や支援がなされており、先生方の大変さをとても感じた。	
学校行事で入場者数の制限があったのは仕方のない事だった。動画やオンラインで様子が伝わった。様々な場面で、しっかりとコロナ感染症対策が講じられていて安心出来た。	

## (3) 令和2年度学校評価アンケート集計結果

委員からの感想・意見・質問	意見や質問に対する回答
<p>コロナ禍にあって、保護者と学校間の連絡が密に行われており、学校の努力が家庭によく伝わっている。保護者アンケートの結果は昨年より評価が格段に上がっており、保護者の学校に対する満足度は高いと思う。</p>	<p>今回、保護者アンケートで良い評価を得ることが出来たのは、職員の努力に加え、御指摘の様に例年以上に家庭と緊密に連絡を取り合い、その結果、連携が深まったことが大きいのではないかと考えております。家庭としっかりと情報共有をすることの重要性を改めて認識しました。老朽化が進む施設・設備につきましては、少しずつではありますが県教育委員会と協議を進めているところです。今後大きく変化する教育課程を含め、検討を継続していきます。</p>
<p>学校で対応できる部分と、施設・設備の充実等、学校だけでは対応できない部分があり、すべてに高評価を得ることは厳しいと思う。予算や人件費など教育委員会等での検討が必要と思われる項目もあるので、継続的に検討していくと良い。</p>	
<p>職員の評価は、この3年間であまり変化はないが、教育課程の編成や、キャリア教育の推進、データ管理の徹底等しっかりと出来ていると思う。</p>	
<p>職員の評価は、自分のことでもあり、厳しく評価されていると感じるが、達成度として7割から8割であるので、全体的には良いのではないかと考える。</p>	

## (4) 令和2年度学校評価表について

委員からの感想・意見・質問	意見や質問に対する回答
<p>全体的に達成できており、学校評価として素晴らしい。</p>	<p>評価を認定していただきありがとうございます。委員の皆様の御指導、御助言を賜りながら職員の一人一人が努力した結果、37項目中A評価が、昨年度17項目から26項目と増えました。次年度以降も客観性を担保しながら目標を明確化し、達成とその後の改善に結びつけられるよう、努めていきたいと思っております。</p>
<p>評価項目の中で、Bの評価のものについては、コロナ禍の影響による、物理的な課題や外部的な要因があることにより、簡単には改善できない項目である。学校だけで解決が難しい部分については、外部との連携を検討すべき。また、その際は予算的なサポートが必要と思われるため、教育委員会や自治体などとの検討が必要である。</p>	
<p>新型コロナウイルスのなかで、色々と考えて取組が行われている。多忙の中、研修等もしっかり行われている。</p>	
<p>自己評価結果に異論はない。今後も客観的な視点で厳しい自己評価に取り組んで欲しい。それが学校内外の信頼や評価にもつながると思う。</p>	
<p>成果と課題の項目のところを読むと、Bの評価だがAでも良いのではと思うところもあった。課題としている内容について今後しっかり取り組めば、益々素晴らしい学校になるのではと思う。</p>	

## (5) 本校における新型コロナウイルス感染症対応について

委員からの感想・意見・質問	意見や質問に対する回答
危機管理の観点から、登校時の健康観察にドライブスルー方式を採用された点については、素晴らしい対応である。	<p>(1)でも触れましたが、コロナ禍という、これまでにない環境の中、学校としては試行錯誤しながらの取組でした。県下で唯一の、病弱の児童生徒のみを対象とする特別支援学校ですので、御指摘のとおり本校独自の対応をとることも少なからずありました。その中には、ドライブスルー方式の検温など、文部科学省を通して全国的に広報された取組もありました。</p> <p>今後はこれまでの取組を検証し、まだしばらくは続くであろうコロナ禍において、児童生徒や家庭に寄り添う姿勢を忘れず、丁寧な取組を心がけてまいります。</p>
メール等で逐次連絡できている。緊急時の連絡体制等も明確に示されている。	
病弱系の学校のため、特に感染症対策には苦労があったと思う。限られた期間の中で、大変良い取組が行われているので、他の支援学校等にも事例研究として共有してはどうか。	
きめ細やかな対応ができている。今のまままで良いと思う。	
今後も迅速な情報共有が求められる。きめ細やかな対応と児童生徒のメンタルケアについても引き続き尽力して欲しい。	
保護者への文書やメールで、「何かあればいつでも」という文言が、保護者にとってはとても安心できるものだったと思う。細やかな対応ができていると思う。今後ワクチン接種が始まっていく中、不安に対する丁寧な対応をお願いしたい。	
コロナ対策が本当に大変だったと感じた。病弱支援学校であることで、他の学校にはない様々な対策を実施した事に対し、保護者の間でも賛否が分かれたかと思う。しかし、病弱支援学校ということから児童生徒を守るためには、必要な対策・対応だったと感じた。保護者の理解を得ながら、今後も取組を進めて欲しい。	

## 2 その他

委員からの感想・意見・質問	意見や質問に対する回答
今しばらくは、コロナ禍の状況が続くと思われる。大変だと思うが、これまで同様の対応をお願いしたい。	<p>コロナ禍にあって様々な点において制限のある教育活動ですが、その時々の中で最大限の教育効果を得られるよう、前例にとらわれず創意工夫してまいります。</p>
学習発表会等の動画を視聴し、児童生徒の演劇やダンス、意見発表等のひた向きな姿に感動した。現在、コロナ禍が続いており学校現場も大変な状況だと思うが、今後も教職員方が一丸となり全児童生徒へ寄り添いながら、将来への自立と社会参加に向けた教育活動に積極的に取り組んで欲しい。	